

■日時 令和2年2月10日(月) 14:00～16:00

■場所 佐賀市役所 庁議室

■参加者

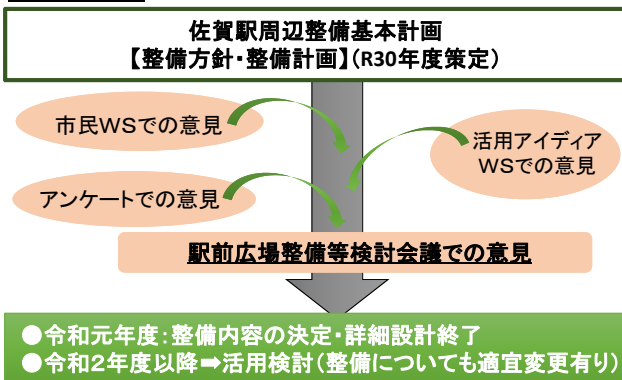
荒牧会長、香月副会長、有馬委員、牛島委員、江口委員、木下委員、柴戸委員、富吉委員、野田委員、馬場委員、福島委員、藤本委員、真島委員
西村アドバイザー

■議題

- 前回(第2回会議)の振り返り
- 再整備検討の進め方と整理、整備計画(案)、南側交流広場の検討項目
- 意見交換、次年度以降の進め方

■再整備検討の進め方と整理

基本的な流れ



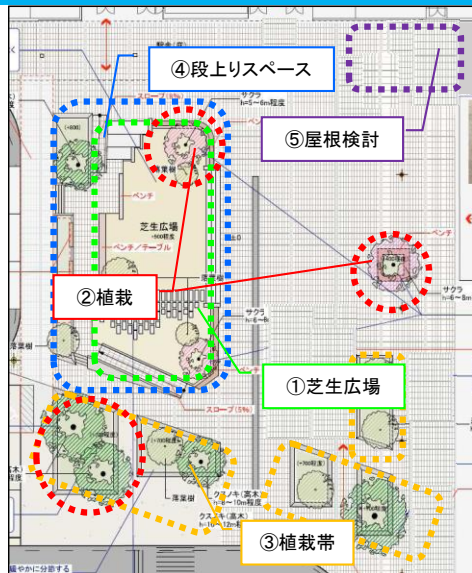
【視点と考え方の整理】

限られた空間での再整備であり、日常「滞留・憩い」、非日常「賑わい・催し」の空間をエリア分けせず、場合に応じて使用可能な空間とする。

具体的には

- > 日陰づくりのため植栽を配置
- > 植栽付近にベンチを配置
- > 出店に必要な設備を準備
- > 佐賀らしさの実現、UDへの配慮

■整備計画(案) ※南口交流広場の検討項目



【検討項目】

- ①芝生広場の配置
 - ・のびやかなランドスケープの表現。
 - ・維持管理には一定の手間を要する。
- ②高い常緑樹や落葉樹を適宜配置
 - ・シンボルツリー的な存在 → 大きめの常緑樹
 - ・四季の移ろいを演出 → 落葉樹など
- ③植栽帯の立ち上がり部を石積で整備
 - ・佐賀の歴史文化を感じさせる設え。
 - ・交通広場や南側道路と分節する緑の空間。
- ④段上りスペース(50cm程度)を整備
 - ・見下ろされない場所となる。
 - ・UDの点ではマイナス。
- ⑤駅舎とコムボックスをつなぐ屋根を検討
 - ・「空間として使用」 → 屋根
 - ・「通路機能のみ」 → シュエルター等

■意見交換(委員意見)

●整備計画(案)に対する意見

【景観・空間イメージ】

- ・段上りスペースは人が寄り付かない場所となりかねない。
- ・あらゆるところに「抜け」がないように感じる。
- ・南側(中心市街地方面)への見通しをすっきりさせたほうが良い。
- ・交流広場にいろんなものを詰め込みすぎている感じがする。

【芝生広場】

- ・親が子供を自由に遊ばせるような場所としては狭い感じがする。
- ・活用する人が芝生を管理するような仕組みをつくる必要がある。

【植栽】

- ・駅前広場だけを考えるのではなく「南側へ歩かせる」といったことを意識した植栽配置を検討してほしい。
- ・植栽はあつという間に育つ。植えてから育つという目線をもって計画したほうが良い。
- ・樹木で視界を遮らないことも考慮して配置してほしい。

【駅舎～コムボックス間屋根】

- ・通路機能としてだけでなく、雨天時に活動できるような大きめの屋根を設置したほうがよいのでは。

【水景施設】

- ・水の風景は少しでもいいので広場のどこかに盛り込んでほしい。
- ・夏は暑いのでミストぐらいはあったほうが良いと思う。
- ・水を感じる絵などを設置することも一つの方法だと思う。

【障がい者への配慮】

- ・車いす利用者や目の不自由な方などに直接ヒアリングを行い、生の意見を聞きながら整備してほしい。

【その他】

- ・来訪者目線で言えば、駅を降り立った時の第一印象で佐賀のイメージが決まるのではないと思う。
- ・「佐賀らしさ」ということでいけば「楽しそう」とか「面白そう」といった風景でもいいと思う。

■次年度以降の進め方

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
北口広場		整備		
南口(交通)広場	設計		整備	
南口(交流)広場				整備
空間活用に向けた取組検討	駅前広場活用検討会議 ○市民、利用者座談会 ○各種ワークショップ等 ○関係者協議(JR九州)	対応	対応	対応

整備・活用に対する市民参加の推進